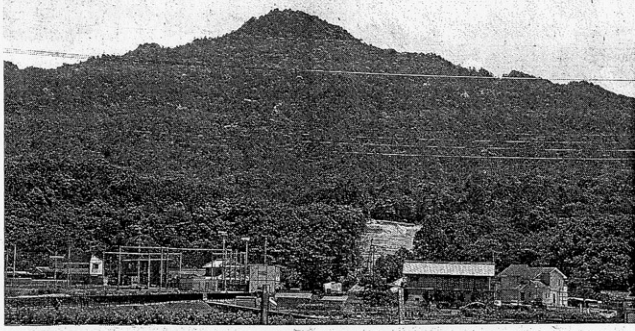


平成22年8月8日、大津市
関津にある「関津城遺跡」の
発掘調査現地説明会が行われ
ました。関津城は、六角氏の
家臣である「宇野氏」の居城
で、瀬田川の流れを見下ろす
小高い丘の上に築かれていま
す。発掘調査では、複数の蔵
の跡が見つかりました。ここ
から、中国などから輸入され
た陶磁器類を始め、銅製の飾
金具類が多数出土したことか
ら、饗応に使う食器類や、屏
風などの調度品、所謂「お宝」
を納めていたと考えられま
す。また、別の蔵からは多量
の米粒も見つかり、米蔵も城
内にあったことも判りまし
た。宇野氏は、瀬田川の船運
に関与することにより、豊か
な経済力を手に入れたよう
で、これらの蔵には、宇野氏
の経済力を誇示する視覚的な

機能もあつたのかも知れませ
ん。
さて、瀬田川と大戸川が合
流する付近から関津城を遠望
したとき、お城の背後に三角
形の秀麗な山が見えます。こ
の山が笹間ヶ岳（433m）
です。笹間ヶ岳には水に関わ
る興味深い行事が伝えられて
います。笹間ヶ岳の山頂には
「八畳岩」と呼ばれる巨岩が
あり、ここに登ると瀬田川の
流れ、さらには比叡山、湖南
一帯を一望することができま
す。八畳岩の下には「白山権
現」を祀る祠があり、地元で
は「権現さん」と親しみを込
めて呼んでいます。この白山
権現と八畳岩の間の岩に、1

笹間ヶ岳



笹間ヶ岳

岩は、麓の田上関
津町の人たちが、
一年の雨量を占う
聖地なのです。関
津町には、毎年、
集団で登山し、水
壺の中の水量を確
認するための行事
が伝えられていま
す。田植えが終わ
った頃に行われる
行事で「権現さん
参り」とか「五月
休み」と呼ばれて
います。白山権現
に詣でた後、水壺
の蓋を開け、中の
水量を見ます。水
壺には前年のお参
りの際に一杯の水
（約3升〜5升強）
を入れています。この残量
が多いとその年は雨がよく降
り、豊作となりますが、少な
いと日照りが続くと考えられて
います。また、水壺が空になっ
ているようなときには、雨乞
いの行事を行うこともあった
ということです。

笹間ヶ岳は、水を司る神の
棲まう神聖な山であり、山頂
の八畳岩は神が宿る磐座なの
でしょう。里の人々は豊作を
祈念して真摯な祈りをこの山
に捧げてきたのです。
日々、麓から笹間ヶ岳を拜
する生活が、古来から連綿と
続いていたのでしょうか。ある
時、この地域を支配する領主
が現れ、関津城を築きここに
入ります。城の立地は笹間ヶ
岳を屏風のように背負う位置
です。いつものように、日々、
笹間ヶ岳の神を拜していた里
人は、いつの間にか、領主を
も拜することになってしまっ
たのです。領民の神に対する
崇拜を利用する。さらに、財
力を視覚的に示す倉庫群。統
治に対する、武士のしたたか
な戦略と演出を感じる城郭の
立地です。

辺が20×30センチの四角な穴（水
壺）がうがたれ、上に切石の
蓋がしてあるのが見えます。
実は、この水壺のある八畳

いと日照りが続くと考えられて
います。

水を司る神に豊作祈る

の経済力を誇示する視覚的な

（財団法人滋賀県文化財保
護協会 大沼芳幸）